

平成30年度学校関係者評価「学校関係者評価書」

宮崎市立小松台小学校

評価は、4に近いほど高い評価

○番号は、重点項目

学校経営ビジョン	重点目標	番号	ゴールイメージ	自己評価		自己評価コメント	評価ポイント	学校関係者評価コメント
				児童	教師			
な児童の生命と人権の育成を尊重し、学校経営の根幹にのし、ある教職員づくりと一体となって、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな	確かな学力の定着・向上(学びを深める)	①	意欲的・主体的に取り組める授業	児童	3.2	諸学習調査結果と県が推奨する「授業の4つのチェックポイント」を活用し、子ども達が「分かる!」「できる!」と実感できる授業改善を目指している。校内研究では、各学年での実態に基づき、育てたい力を話し合い、PDCAサイクルを意識した一人2回の研究授業を実施した。今後も、教師一人一人の授業力向上を図り、個に応じた支援を充実させていきたい。また、特別な支援が必要な児童へは、支援内容を明確にし、特別支援コーディネーターを中心に、計画的に支援を行っていきたい。	3.4	○参観日の授業を見せてもらったが、児童の授業に対する積極的な姿が印象的、これまでの取組を継続してほしい。 ○教師の方々の授業力向上を図り、個に応じた支援を充実していく姿はすばらしいと思います。但し、発達障がいグレーゾーンの子供たちも増加していると思うので、対応が難しいと思うが、よろしく願いたい。 ○一人2回の研究授業は大変だと思いますが、教師の力を上げるには、重要な研修だと思えます。 ○先生の良く通る声と目をしっかり合わせて丁寧に指導する姿が見られ、子どもたちも集中して授業に取り組んでいる。板書の内容やプリント類も良く考えられており、分かりやすい授業の取り組みが評価できる。教室内もきれいに整理整頓されており、集中の邪魔をしないようになっている。 ○教室がきれいに整理整頓されています。「全員に学力の定着を図ること」を目標に継続して指導願います。 ○先生方は多忙な中、頑張っておられます。児童・保護者の評価が高いので、今後もますます「分かる」「できる」と実感できる授業改善に努めて下さい。 ○各学年の実態に合わせた授業改善や支援など大変計画性があり、先生方の意欲的、主体的に取り組める授業に向かう姿勢が強く感じられます。教師2.7の評価は、その様な先生方の謙虚な姿勢の表れと感じます。 ○手遊びや私語などがなく、授業中の態度が良くなっている。教師の児童が理解しやすい授業づくりがなされている。
				教師	2.7			
	保護者			3.2				
	2	学習習慣の定着している授業	児童	3.0	授業開始前に黙想をしたり、「立腰」の号令で姿勢を整えたりして、休み時間と授業の違いを意識させ、集中して学習に取り組めるようにしている。授業では、1時間1時間のめあてのもと、「一人で考える時間」「みんなで話し合う時間」「まとめる時間」「確認する時間」をしっかり設け、授業のスタイルをできるだけ統一することで、学習習慣を身に付けさせ、個に応じた指導をさらに充実させていくようにした。そのことによって、学習内容の確実な定着と全体の底上げにもつながっていくので、今後も継続していきたい。	3.4		
			教師	2.9				
			保護者	3.0				
	豊かな心の育成(心を耕す)	3	気持ちのよいあいさつ	児童	3.4	教師による積極的なあいさつ及び6年生による朝のボランティア活動によるあいさつ運動等、上学年の児童と教師が、他学年の児童の模範となるように心がけている。また、会釈にも力を入れ、時と場に応じたあいさつができるようにしている。あいさつの意義については、生徒指導主事による全校朝会での話や学級での指導等、機会を捉えて発達段階に応じて伝えるようにしている。個人差が大きいこともあり、今後は、家庭への啓発と個々の子ども達に対して、「あいさつ」ができたことを称賛する姿勢で臨んでいきたい。	3.2	
				教師	2.8			
				保護者	3.1			
	④	人権尊重や望ましい人間関係の醸成	児童	3.7	毎月の悩みアンケートや年3回の教育相談週間での取組はもちろん、日頃から児童一人一人を見つめ、気になる時には声かけを行っている。学年及び全校での情報交換も積極的に行うように心がけ、気になる事案については、生徒指導主事を中心に早期に話し合いの場を設け、対応している。参観日では人権に関する授業を行い、家庭との連携を図るようにしている。また、人権担当の職員が、給食時の放送等を使って、「心の講話」を行ったり、道徳教育推進の職員が研究授業を行い、「道徳」の授業の活性化を図ったりすることで、人権意識を高めるようにしている。	3.5		
教師			3.0					
保護者			3.3					
健康・安全教育の充実(命を守る)	5	健康に留意した学校や家庭生活	児童	3.5	運動会の時期の熱中症対策として、温度と湿度を加味した指数を目安に、練習内容等を考慮したり、水泳や持久走の授業のある時は、保護者から提出される健康調査カードを使ったりして、個々の子ども達の体調を的確に捉えるように心がけている。風邪やインフルエンザ等の流行前には、保健室から家庭への文書を出し、予防に努めている。また、日頃から「手洗い・うがい」の大切さについて指導を行い、児童の意識付けを図っている。歯磨きについても、保健委員会の子どもたちや外部の歯科医院の協力を得て、計画的に指導している。	3.4		
			教師	3.2				
			保護者	3.3				
⑥	(生活・交通・災害)安全教育の充実	児童	3.6	日常から学級での安全指導を繰り返し行ったり、全校朝会における生徒指導主事によるパワーポイントを使った話をしたりすることで、児童の安全への意識を高めるようにしている。また、月1回の登校班長会では、班長・副班長へ具体的な登校時の取組について指導している。今後も、交通教室や集団下校等での安全指導を行ってきたい。ビデオや資料を事前指導に使った避難訓練による防災への意識、年1回実施する引渡し訓練などによる保護者の意識も高めていきたい。	3.4			
		教師	3.2					
		保護者	3.3					
家庭・地域と連携した教育の充実(地域とつながる)	⑦	家庭・地域と連携した活動の充実	児童	3.1	本校の大きな行事の一つである「ふれあいin小松台」では、保護者、小松台地区まちづくり委員会の協力のもと、子ども達は、日頃味わえない体験を味わうことで、見聞を広めることができた。1年生の下校持における見守り活動や運動会準備等での協力、PTAによる学年レクリエーションによって、家庭・地域との連携が図られた。今後とも、学校からの発信を積極的に行い、様々な面で「開かれた学校づくり」を推進していきたい。また、教師が、地域の行事等を把握するとともに、今まで以上に教師自ら積極的に参加するように努め、地域を知るようにしていきたい。	3.1		
			教師	2.6				
			保護者	3.0				
総評	<p>○色々な取組により、児童達は落ち着いた雰囲気の中で集中して授業に取り組む姿があり、先生と児童の距離の近さを感じられる。 ○参観日、運動会などの学校訪問を通じて、生徒・先生方の一生懸命な姿にいつも感心しています。しかし、教育には、必ず個々の問題が出てくると思うので、できる限りの対応をお願いしたい。 ○全職員で大変すばらしい教育活動がなされている。これからも、継続発展されることを願います。 ○工夫された授業、先生方の向上心、地域・家庭との連携、そして素直であいさつのできる子どもたち。良好な関係・環境ができていて感じている。この状況が続くように慢心することなくより良くする努力を続けてほしい。 ○駄菓子等のゴミのポイ捨てだけは無くならない。家庭と連携してしっかり指導をお願いします。○学校内が明るく活気ある素晴らしい学校です。今後も、のびのびした明るい学校生活を目標に取り組んで下さい。 ○学校全体が明るく感じた。児童がのびのびと生活している。そうじの時、児童が工夫しているのは感心した。 ○信頼され、存在感のある学校づくりは、やはり、地域をはじめ保護者への発信力ではないかと考えます。そのことから、どの項目においても、保護者の評価はほぼ一定しており、ある程度保護者の信頼は得られているのではないだろうかと推察します。今後も、この取り組みを継続していただきたいと思います。</p>							